運動やスポーツの多様性

教科書 p. 34-43

■学習内容■ (赤字部分は新学習指導要領で新たに加わり,平成 31 年度と 2 年度で指導する必要がある内容です。下線部分は新学習指導要領で第 2 学年での配当となったため,2 年度の第1学年では省略する内容です。)

── 学習指導要領の内容のまとまり ──

--- 教科書の内容(単元) --

ア. 運動やスポーツの必要性と楽しさ

運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりするなどの必要性や、競技に応じた力を試すなどの楽しさから生み出され発展してきたこと。

1 運動やスポーツの必要性と 楽しさ

(1時間)

イ. 運動やスポーツへの多様な関わり方

運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることなどの多様な関わり方があること。

2 運動やスポーツへの多様な 関わり方

(1時間)

ウ. 運動やスポーツの学び方

<u>運動やスポーツには、特有の技術や戦術があり、そ</u> <u>の学び方には一定の方法があること。</u> 3 運動やスポーツの学び方

(1時間)

(ウ). 運動やスポーツの多様な楽しみ方

世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であること。

2 運動やスポーツへの多様な 関わり方(章末資料 「スポーツライフ」)

(1時間)

(全4時間)

■体育編の目標■

〇総括的な目標

運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。

- ○評価の観点に即した目標
 - ・運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、学習に積極的に取り組むことができるようにする。 (関心・意欲・態度)
 - ・運動やスポーツが多様であることについて、学習した知識を活用したり応用したりすることができるようにする。 (思考・判断)
 - 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。

(知識・理解)

	健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
章の評価規準	運動やスポーツが多様であることについて関心をもち, 学習に積極的に取り組もうと している。	運動やスポーツが多様であることについて,学習した知識を活用したり応用したりしている。	運動やスポーツが多様である ことについて理解している。
学習活動における具体的な評価規準	①運動やスポーツが多様であることについて, (情報を集めたり, 意見を交換したりするなどの)活動を通して, 学習に積極的に取り組もうとしている。	①運動やスポーツが多様であることについて,出された意見や集めた情報を分析したり,整理したりしている。	①運動やスポーツの必要性と楽しさについて、言ったり書き出したりしている。 ②運動やスポーツへの多様な関わり方について、言ったり書き出したりしている。 ③運動やスポーツの学び方について、言ったり書き出したりしている。 ④運動やスポーツの多様な楽しみ方について、言ったり書き出したりしている。

■指導計画例■

- ※【評価の観点】の丸数字(①, ②…)は、■評価規準の例■の丸数字に対応しています。
- ※[評価場面:活動]の数字(1,2…)は、学習内容と活動の数字に対応しています。

ア. 運動やスポーツの必要性と楽しさ

ページ 単元	学習内容と活動	評価の観点と方法(本時のおもな評価)
P. 34 P. 35 1 運動や	<本時の目標> 運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生み出されてきたことを理解できるようにする。また、運動やスポーツは、人々の生活と深く関わりながら、いろいろな欲求や必	【評価の観点】関心・意欲・態度① 運動やスポーツが多様であることについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。 [評価場面:活動2、評価方法:教師の観察]
スポーツの必要性と楽しさ	要性を満たしつつ発展し、その時々の社会の変化とともに、その捉え方も変容してきたことを理解できるようにする。 1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。 2 「やってみよう」自分や身近な人々が行っている運動やスポーツを発表し合う。 3 資料1等を参考に、運動やスポーツには、どのような楽しさがあるか調べ、整理する。	【評価の観点】思考・判断① 運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。 [評価場面:活動5,評価方法:教師の観察、ノート等への記入状況] 【評価の観点】知識・理解①

- **4** 資料2等をもとに、運動やスポーツは、社会の変化とともに、その捉え方も変容してきたことを整理する。
- 5 「考えてみよう」学習したことを活用し、読み物「駅伝の始まり」等をもとに駅伝の楽しさについて考え、発表し合う。
- 6 本時の学習をノート等にまとめる。

運動やスポーツの必要性と楽しさについて、言ったり書き出したりしている。 [評価方法:ノート等への記入状況、小テストや章末テスト]

イ. 運動やスポーツへの多様な関わり方

ページ 単元	学習内容と活動		評価の観点と方法(本時のおもな評価)
単 P. 2. 運動やスポーツへの多様な関わり方元 36~37 2 運動やスポーツへの多様な関わり方	ど じ 見 し 接 関 1 2 3	本時の目標> 重動やスポーツには、直接「行うこと」、テレビなのメディアや競技場での観戦を通して、これらをあること」、また、地域のスポーツクラブで指導して、また、地域のスポーツクラブで指導して、大会の運営や障がい者の支充した。を行ったりするなどの「支えること」など、多様ないり方があることを理解できるようにする。 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。「やってみよう」教科書の写真等を参考にしながら、運動会を例に運動やスポーツへの関わり方を考え、発表し合う。資料1等を参考に、スポーツには「行うこと」「見ること」「支えること」などの多様な関わり方があることを整理する。資料1等を参考に、「スポーツを見る」という関わり方について、ほかにどんな支え方があるかを考え、発表し合う。「考えてみよう」学習したことを活用し、地域のスポーツイベントに自分がどのように関わることができるか考え、発表し合う。本時の学習をノート等にまとめる。本時の学習をノート等にまとめる。	【評価の観点】関心・意欲・態度① 運動やスポーツが多様であることについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。 [評価場面:活動2、評価方法:教師の観察、ノート等への記入状況] 【評価の観点】思考・判断① 運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。 [評価場面:活動6、評価方法:教師の観察、ノート等への記入状況] 【評価の観点】知識・理解② 運動やスポーツへの多様な関わり方について、言ったり書き出したりしている。 [評価方法:ノート等への記入状況、小テストや章末テスト]

ウ. 運動やスポーツの学び方

ページ 単元	学習内容と活動	評価の観点と方法(本時のおもな評価)
P. 38 ? P. 39	<本時の目標> 運動やスポーツには、その領域や種目に応じた特有の技術や作戦、戦術、表現の仕方があり、特に運動やスポーツの課題を解決するための合理的な体の動かし方などを技術といい、競技などの対戦相手との競争において、戦術は技術を選択する際の方針であり、作戦は試合を行う際の方針であることを理解できるようにする。また、技術や戦術、表現の仕方などを学ぶには	【評価の観点】関心・意欲・態度① 運動やスポーツが多様であることについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。 [評価場面:活動2、評価方法:教師の観察]

3 運動やスポーツの学び方

よい動き方を見つけること、合理的な練習の目標や計画を立てること、実行した技術や戦術、表現がうまくできたかを確認することなどの方法があることを理解できるようにする。

- 1 「今日の学習」本時の学習の見通しをもつ。
- **2** 「やってみよう」A さん, B さん, C さんの会話 を読み, 個人の技術について話している人は誰か 考え, 発表し合う。
- **3** 運動やスポーツの技術や表現の仕方について調べ、整理する。
- 4 運動やスポーツの戦術について調べ、整理する。
- 5 試合での作戦について調べ、整理する。
- **6** 「考えてみよう」イラストで示されたバスケット ボールの試合のある場面において,①~③のうち どのプレイ(戦術)を選ぶべきか話し合う。
- 7 読み物「データ分析が試合を決める」や p.42 「運動やスポーツの学び方」等を参考にしなが ら,運動やスポーツの学び方について調べ,整理 する。
- 8 本時の学習をノート等にまとめる。

【評価の観点】思考・判断①

運動やスポーツが多様であることについて,出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。

[評価場面:活動6,評価方法:教師の観察,ノート等への記入状況]

【評価の観点】知識・理解③

運動やスポーツの学び方について, 言ったり書き出したりしている。 [評価方法:ノート等への記入状況,小 テストや章末テスト]

(ウ) . 運動やスポーツの多様な楽しみ方

ページ 単元		学習内容と活動	評価の観点と方法(本時のおもな評価)
P. 40 P. 41 P. 41	デ 見 理 1 2	本時の目標> 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を対けたり、工夫したりすることが大切であることを解できるようにする。 本時の学習の見通しをもつ。 世代や機会に応じ、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためにはどうしたら、教科書のイラストや写真も参考にしながら、考える。これまでのスポーツライフについて、振り返り、発表する。現在のスポーツライフについて、整理する。これからのスポーツライフについて、整理する。これからのスポーツライフについて考え、生涯にわたってどのようなスポーツライフを送りたいか、発表する。 本時の学習をノート等にまとめる。	【評価の観点】関心・意欲・態度① 運動やスポーツが多様であることについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。 [評価場面:活動2、評価方法:教師の観察、ノート等への記入状況] 【評価の観点】思考・判断① 運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。 [評価場面:活動5、評価方法:教師の観察、ノート等への記入状況] 【評価の観点】知識・理解④ 運動やスポーツへの多様な楽しみ方について、言ったり書き出したりしている。 [評価方法:ノート等への記入状況,小テストや章末テスト]